

子どもたちの安全確保へ スクールガードに委嘱状交付

町教育委員会は4月4日、児童の登下校時の見守り活動を行っていただく学校安全ボランティア「スクールガード」43人に委嘱状を交付しました。

スクールガードは、安全で安心な学校環境を目指し委嘱しているもので、児童の登下校時に街頭に立ち、温かく見守りながら、児童の心に安心を与えています。本年度は、スクールガードリーダーを2人配置し、新体制で地域の実情に合った安全確保を支援していきます。



自主防災組織の連携を強化 町自主防災組織連絡会が発足

町内行政区ごとに組織する自主防災会の代表者20人で構成する「町自主防災組織連絡会」が3月25日に発足しました。同連絡会の会長には、第14区自主防災組織の岩淵善二さんが選出されました。

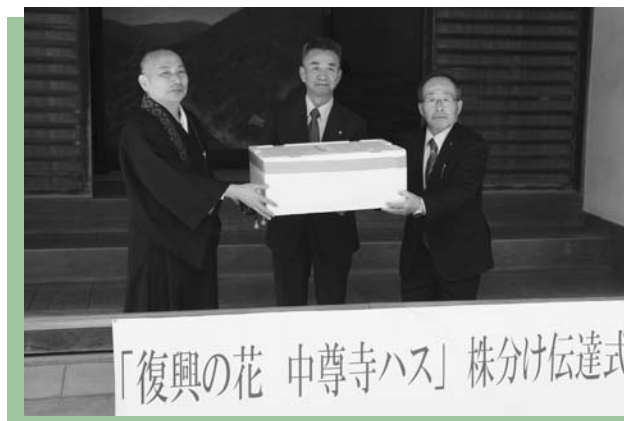
今後は単独組織では難しい研修会の開催や大規模訓練への参加を合同で実施することで、各行政区の自主防災組織の連携強化を図り、災害時における災害対応能力の向上を目指していきます。



外国人観光客の利便性向上へ 「多言語音声ガイドペン」の貸し出し開始

外国人観光客の利便性向上と誘客に役立てるため、平泉観光協会では、平泉の歴史や文化を自国の言葉で理解できるように7カ国語に対応した「多言語音声ガイドペン」の貸し出しを4月1日から始めました。

ガイドブックの写真やアイコンにガイドペンを当てると、世界遺産平泉の構成資産、町内の史跡や名所などの案内が音声で流れます。年間1万本の利用を見込んでおり、拡大傾向にある外国人観光客対策として期待されています。



復興の花 中尊寺ハス 大分県竹田市に株分け

3月28日、中尊寺境内で中尊寺ハスの株分け伝達式が開かれました。岩淵教育長と中尊寺の清水広元執事長、大分県竹田市教育委員会の吉野英勝教育長が出席。東日本大震災からの復興、九州北部豪雨で被災した同市の復興を願い、復興のシンボルとして中尊寺ハスが吉野教育長に手渡されました。

同市とは歴史文化交流パートナーシップを結んでおり、吉野教育長は「中尊寺ハスの株分けに感謝し、大事に育て、今後も交流を深めていきたい」と話していました。

絶対に火遊びはしません！

長島少年消防クラブに1年生18人が入団

4月15日、長島小学校の全校児童91人で組織する長島少年消防クラブの平成28年度入団式が行われました。この春入学した1年生18人が新たに仲間入りし、入団の証として、クラブ手帳とクラブバッジが交付されました。

その後全クラブ員で「火災をなくす誓い」を力強く唱和し、火災のない町を目指すことを誓いました。

同クラブはさまざまな活動を通して、防災、防火意識を高め、ふるさとを大事にする心を育てています。



ケロ平が観光客をお出迎え

「ケロ平顔出しパネル」除幕式

「ケロ平顔出しパネル」の除幕式が3月29日、駅前広場で行われました。除幕式には堀江淳県南広域振興局長とケロ平をはじめ、青木町長、JR盛岡支社の月居康男一ノ関地区指導センター所長と平岩一夫平泉駅長、泉信平平泉観光協会会長が出席しました。

この顔出しパネルは平泉世界遺産登録5周年を記念し、県南広域振興局が制作したものであり、今後1年間をめぐり、JR平泉駅1番ホーム(下り)に常設されます。



お釈迦様の誕生日を祝う 中尊寺花まつり

中尊寺恒例の花まつりが4月17日、平泉文化遺産センターで開かれました。花まつりは4月8日のお釈迦様の誕生日を祝うもので、お釈迦様の生まれ変わりである白い象に、甘茶をかけて祝う行事です。

会場には、まつりを待ちわびていた親子連れなどが詰め掛けました。子どもたちは中尊寺僧りよをはじめ、一関修紅短大の学生や商工会青年部などが企画した劇やぬりえ、ゲームなどをして楽しく過ごしていました。



電気自動車をもっと身近に 日産自動車が無償で貸与

日産自動車株式会社の「電気自動車活用事例創発事業」により、町に電気自動車1台が3年間無償で貸与されることとなり、3月30日に、役場庁舎前で貸与式が行われました。

貸与式で青木町長は「さまざまな場面で活用し、電気自動車の普及啓発に努めたい」と有効活用を誓いました。

貸与された電気自動車「e-NV200」は、町民福祉課の公用車として不法投棄のパトロールや放射線量測定などの際に活用していきます。